**豊葉の杜学園副校長　橋田　康裕さん**

2人の息子が、高校2年生と中学3年生となり、自分の加齢以上に、子ども2人の成長から、時の速さを痛烈に感じています。いえいえ、肩や膝の痛み、目のくすみ等から、しっかりと自分の加齢を感じているのは間違いありません。平日や土日、祝日に関係なく、毎日朝の6時前に、高校野球の朝練に参加し、夜遅くに帰宅している長男や、夜中の２時過ぎまで、受験勉強をしていて、家族を起こさないように、そっと部屋の出入りをしている次男の姿からも成長の速さを感じております。

息子たちの日々の頑張りはよく分かっていますが、特に何かを話しかける訳でもなく、ただ見守っているだけの自分(父親)に自己嫌悪を抱くときもあります。言い訳になりますが、息子2人の背中から、「自分で頑張れる」と語っているようにも感じています。

普段通りの一日一日の生活の中に、子どもの成長を感じる中で、親として何をしてあげたら良いのか、子どもにどう声をかけたらいいのかを、日々日々、迷い、憂いながら過ごしていることに気が付かされます。

　学校は、子どもたちの日々の成長を大切にしながら、さらに大きく成長を促す場所です。その子どもたちの成長を、後ろから支え、見守り、子どもたちが自分で進んで行けるように応援し続けていきます。保護者の方々や地域の方々と共に、今後とも、副校長として、より広い視野と情熱をもって、教育に携われるように努力をしてまいります。

次回は、豊町一丁目町会にバトンタッチ

**えばごクイズラリー開催しました**

日に日に秋の色の濃さが増していますが、荏原第五地区のみなさまはいかがお過ごしでしょうか。10月14日(金)に、しながわ中央公園にて「えばごクイズラリー」を実施しました。当日は、地域支援員(ボランティア)が8名のほか、13名が参加されました。

　この「えばごクイズラリー」は、地域支援員が提案・企画したものです。コロナ禍で外出の機会や人と会うことが減ってしまったため、公園の花壇に咲く花の場所を当てるクイズを作り楽しんでいただくことにしました。実は、今回で2回目の実施となります。前回の経験から、クイズに使う花の写真を撮る時に長持ちしそうな花を選んだり、景品は地域支援員の特技を活かし、昨年より豪華となりました。待ちに待った当日は、天候が不安定な中の開催となりましたが、参加者は花以外にもたくさん話をしながら公園内を歩いて周りました。次回は、暖かい春の季節に開催したいとの声も上がり、みなさん楽しまれていました。